

大学期の再発と全身リバウンドを経て就職に至った青年期アトピーの経過 (22 歳女性)

症例 ID：001-20-IY6 | 記録日：2018 年 3 月 28 日

1. 診断・治療前経過

幼児期に松本医院で治療され、その後 15 年以上、睡眠や食事、旅行など日常生活に支障なく過ごしていました。大学 4 年春に全身のかゆみと皮膚症状が再発し、過呼吸で救急搬送され、約 1 年間大学へ通うことが難しくなりました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	幼児期および再発時とも、ステロイドは使用していません。
製品名	該当しません。
強度	該当しません。
使用期間	使用歴はありません。
中止時期	該当しません。
来院前／後	ステロイドを使用せず治療しました。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
幼児期	初回治療	松本医院で治療し、その後 15 年以上、日常生活に支障なく過ごしました。
2016 年夏頃	再発前	顔に赤い湿疹が出始めました。
2017 年 4 月頃	再発・悪化	全身のかゆみと傷が広がり、大学生活と就職活動に支障が出ました。
2017 年 5 月 17 日	治療再開	松本医院で再び治療を開始しました。
2017 年 5～7 月	ピーク	過呼吸、全身の浸出液、寝具の汚染、強いかゆみが続きました。
2017 年秋～冬	回復傾向	泣くことが減り、睡眠導入剤なしで眠れるようになりました。
2018 年 3 月	経過後	関節周囲を除いて、皮膚が崩れていたことが分からないほど回復し、4 月から就職予定となりました。

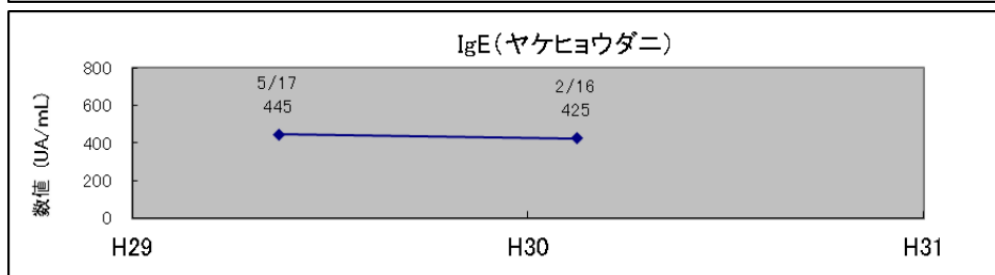
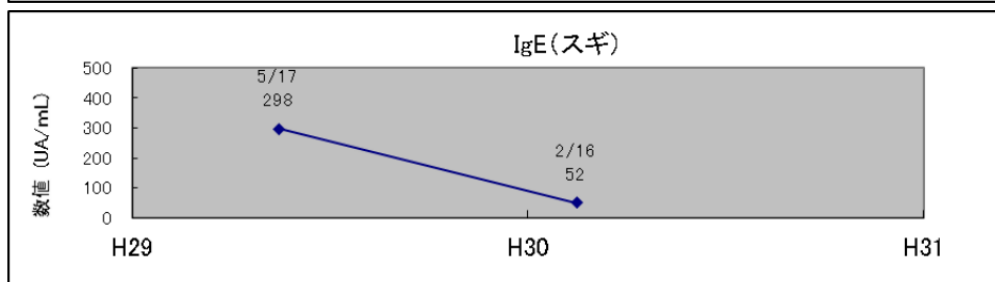
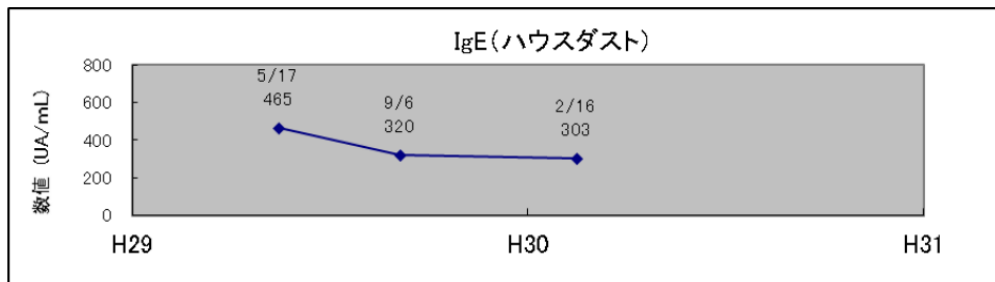
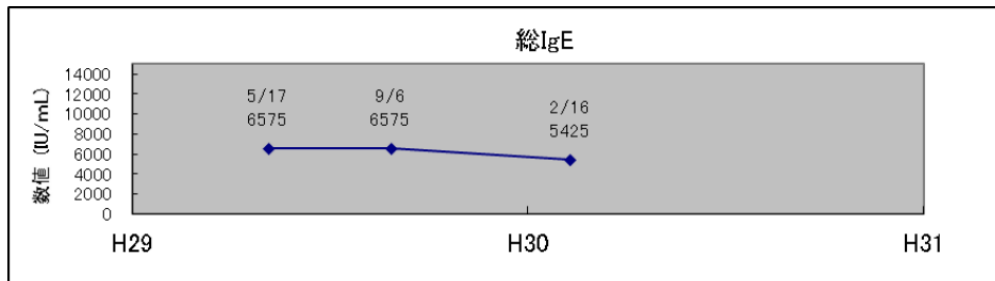
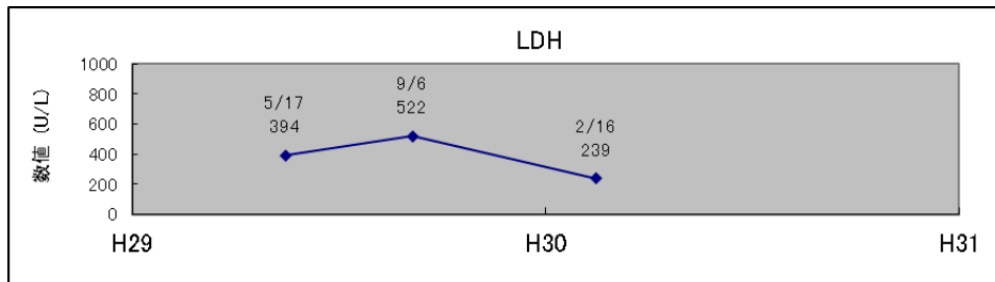
4. ピーク時期

ピークは、全身から浸出液が出て寝具を毎日洗う必要があり、過呼吸と強いかゆみで大学へ通えなかった 2017 年 5～7 月頃です。

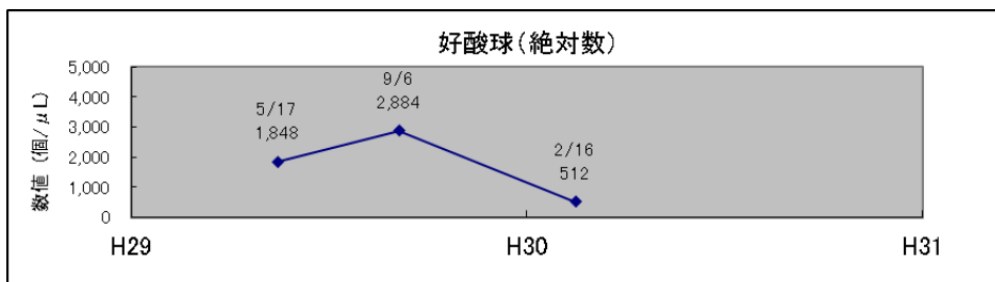
5. 困りごと

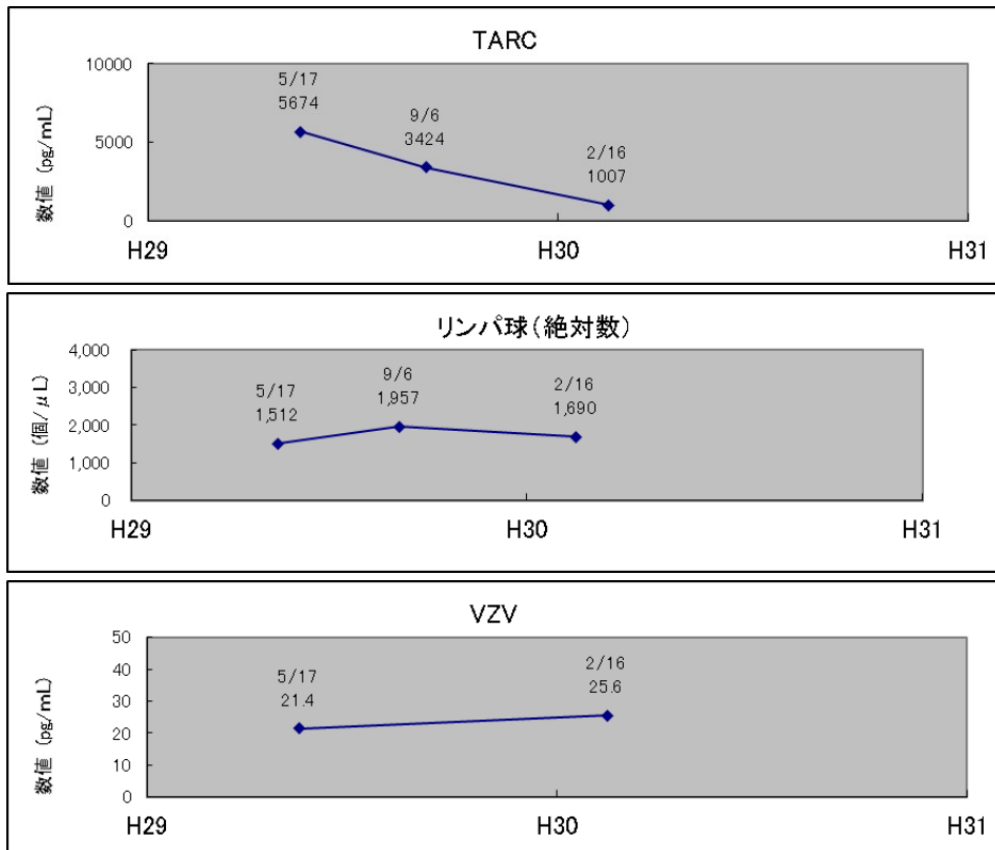
- ・約 1 年間大学へ通うことが難しく、就職活動も途中で辞退しました。
- ・浸出液で寝具が汚れ、毎日の洗濯や乾燥が必要でした。
- ・強いかゆみと不眠、過呼吸により生活全体が大きく制限されました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。



2017年5月から2018年2月までの検査値の推移。





2017/5/17 HSV : 0.3

治療経過中の検査値の推移。

7. 経過のまとめ

2018年3月には、関節周囲を除いて皮膚が崩れていたことが分からないほど回復しました。

睡眠導入剤なしで眠り、友人との外食や服選びを楽しめるようになり、4月から社会人として働く予定となりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。